

# 平成31年度重点取組事項

～公益重視の管理経営と林業の成長産業化の実現に向けて～



九州森林管理局

(※令和元年7月5日一部修正)



# 平成31年度 九州森林管理局 重点7項目

① 確実な再造林の実施に向けた低コスト造林技術の確立

② 木材の安定供給等に向けた担い手の育成

③ 深刻化するシカ被害への対応

④ 森林経営管理制度の導入を踏まえた民有林行政の支援

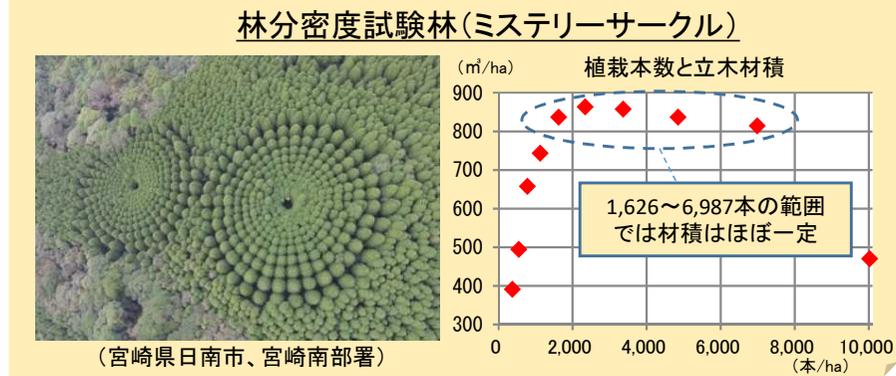
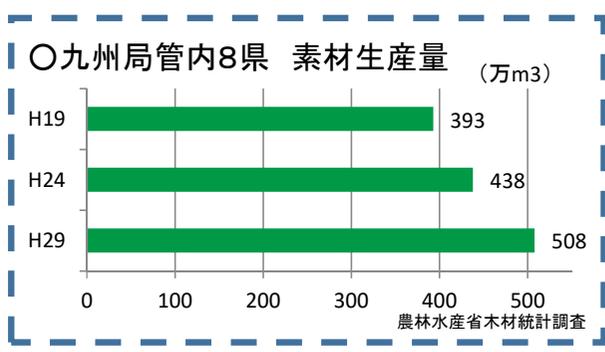
⑤ 優れた自然環境を有する森林の保全

⑥ 森林景観を活かした観光資源の創出

⑦ 山地災害からの復旧・復興に向けた取組

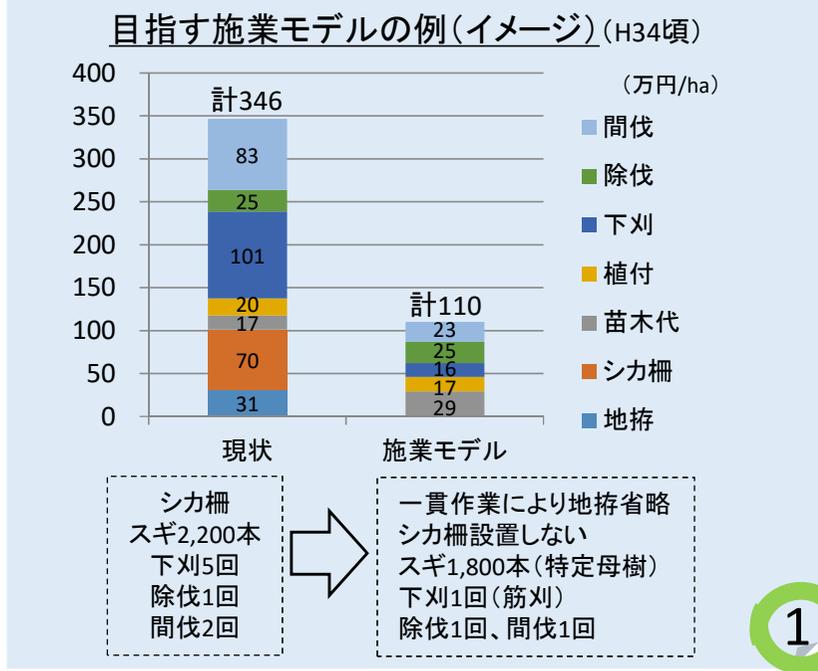
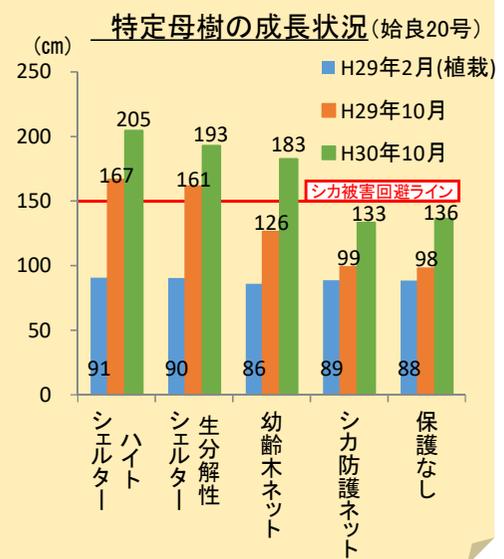
# ① 確実な再生林に向けた低コスト造林技術の確立

- 各地で伐採面積が増加する中、森林の多面的機能を持続的に発揮させるため、確実な再生林に向けて、国有林のスケールメリットを活かし、先駆的手法を積極的に導入し、低コスト造林技術を確立して、民有林へ普及する。
- 特に、成長が早い苗木(特定母樹)の中苗を使うことにより、シカ被害の防止と下刈ゼロを目指す。



## 「次世代造林プロジェクト」低コスト造林実証試験地

森林総合研究所(九州支所・九州育種場)・宮崎大学と連携し、特定母樹から生産したスギ中苗(70~100cm程度の大きめの苗木)の植栽等により、シカ被害防止と労働荷重の軽減等について検証。



## ②木材の安定供給等に向けた担い手の育成

- 森林の多面的機能の持続的発揮、多様で健全な森林づくりに向けて、計画的な森林整備を推進。生産した国有林材については、国産材の需要拡大や加工流通の合理化に取り組む製材工場等に安定的に供給。
- 適切な森林整備と木材の安定供給に向けて、生産性向上の取組等により、意欲と能力のある林業経営者等の担い手を育成する。

### ○計画的な森林整備

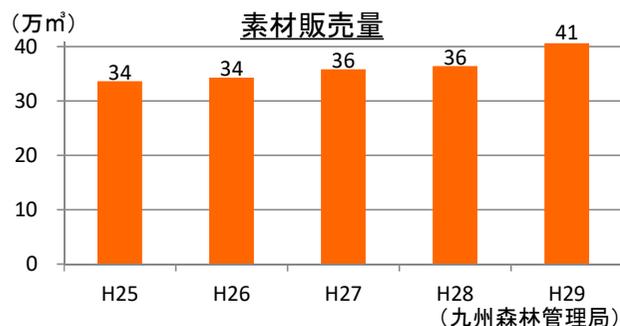
列状間伐



複層林施業



### ○国有林材の安定供給



### ICT技術による素材生産の効率化

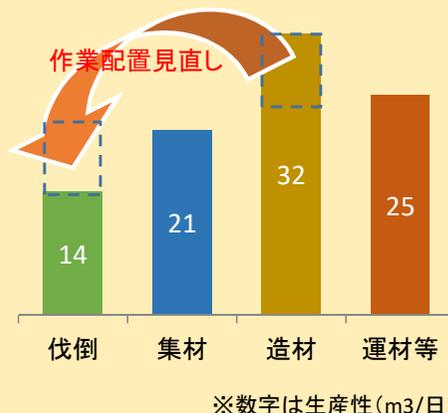
デジタル写真から画像処理を行い、径級を自動判別。



### 生産性の向上

日報管理を通じた工程把握により、作業システムの最適化や作業改善を図り、高い生産性の実現を目指す。

～ボトルネック解消のイメージ～



| (m <sup>3</sup> /人・日) | 現状(H27) | 目標(H37) |
|-----------------------|---------|---------|
| 主伐                    | 6.5     | 12.9    |
| 間伐                    | 3.9     | 8.2     |

平成30年度国有林間伐・再造林推進コンクール 林野庁長官表彰 優秀賞  
南那珂森林組合(宮崎県日南市)の取組事例(主伐)

- 伐倒作業でフェラーバンチャ付きグラップルバケットを使用し、人力伐倒と比較して生産性が向上。
- ロングリーチグラップルで集材・地拵えできるよう、効率的に路網を配置。
- 生産性 8.6m<sup>3</sup>/人・日
- 生産コスト 7,000円/m<sup>3</sup>



### 発注見通しの公表

林業事業者の経営の安定化に資するよう、民有林関係者と連携して、森林整備や素材生産の発注見通しを公表。

平成31年度発注の見通しに関する事項・契約状況等

発注の見通しに関する事項

▶ 平成31年度熊本森林管理署(生産・造林)発注見通し(平成31年4月4日更新)

九州森林管理局ホームページ

### 【HP掲載情報】

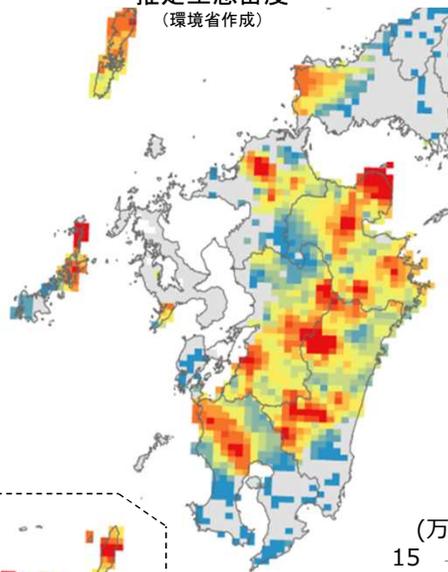
- ・事業実施場所
- ・実施期間
- ・作業の種類
- ・事業概要、数量
- ・入札時期 など

### ③深刻化するシカ被害への対応

- シカの増加、生息域の拡大により森林の被害が深刻化。
- 被害が甚大な地域においてモニタリング調査を行いつつ、請負等によるシカ捕獲やシカ被害対策協定に基づく取組等を推進するとともに、新たにICTを活用したシカ捕獲の試行的導入を図る。

#### ○ ニホンジカによる森林被害

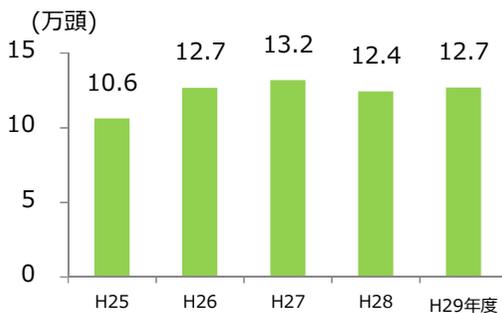
推定生息密度  
(環境省作成)



自動撮影カメラで撮影されたシカ



シカ被害により下層植生が消失し、表土が流出



九州におけるシカ捕獲頭数

ニホンジカの推定生息密度(頭/km<sup>2</sup>)  
(2014年度当初中央値)

|        |        |        |
|--------|--------|--------|
| 1.0未満  | 20.0未満 | 分布確認なし |
| 3.0未満  | 25.0未満 | 調査対象外  |
| 5.0未満  | 30.0未満 |        |
| 7.0未満  | 40.0未満 |        |
| 10.0未満 | 50.0未満 |        |
| 15.0未満 | 50.0以上 |        |

※環境省生息状況等緊急調査事業による推定生息頭数は約43万頭(平成24年度末)

#### シカ被害対策協定

地元市町村・猟友会・林業事業者との「シカ被害対策協定」(34協定)により、地域全体での被害対策を実施。  
(平成31年3月)

##### 【協定の主な内容】

- 入林手続きの簡略化
- 森林管理署によるわなの無償貸与



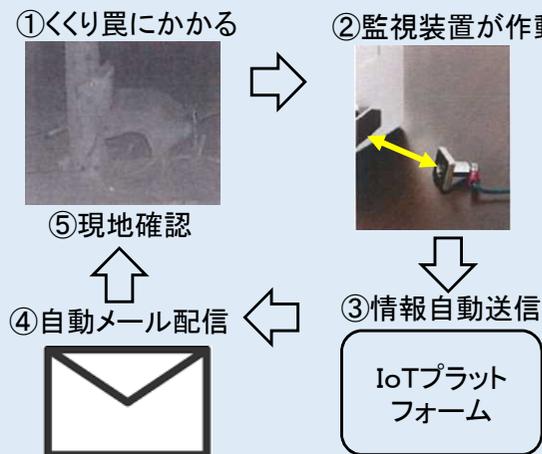
(宮崎北部署)

くくり罠



#### ICTを活用したシカ捕獲

監視装置からの捕獲情報をメールで配信することにより、見回りの労力を軽減。親機が携帯電話エリア内であれば監視装置はエリア外でも通信可能。



※写真付きデータの送信は引き続き検証。

#### 九州シカ広域一斉捕獲

九州5県(福岡、熊本、大分、宮崎、鹿児島)と連携し、春期8日間、秋期15日間に集中的に捕獲。期間中は国有林の入林禁止区域の撤廃や林道ゲートの開放等を実施。



## ④森林経営管理制度の導入を踏まえた民有林行政の支援

- ・平成31年度から民有林において森林経営管理制度が導入され、森林環境譲与税の譲与が開始。
- ・森林経営管理制度が円滑に機能するよう、森林総合監理士等による市町村の森林・林業行政等に対する技術的な支援に積極的に取り組む。

### 現地検討会の実施

各署で現地検討会を開催し、民有林関係者に技術を普及。  
局ホームページで実施予定を公表し、関係者に幅広く参加を呼びかけ。



伐採と造林の一貫作業システム（屋久島署）



ドローンによる架線設置（熊本南部署）

### 【現地検討会の開催状況】

| 年度  | 実施回数 | 参加者数  | 民有林関係者 |
|-----|------|-------|--------|
| H26 | 21   | 772   | 434    |
| H27 | 39   | 1,483 | 918    |
| H28 | 50   | 1,709 | 1,007  |
| H29 | 46   | 1,213 | 673    |
| H30 | 39   | 1,574 | 984    |

### 市町村への情報提供

各種会議等の様々な機会を捉えて、森林・林業行政に関する情報を提供。



### 市町村職員向け研修の実施



○国職員向けの研修の聴講者を募集。  
（森林の見方、森林の育成、森林の収穫）

○関係機関と連携して、基礎的な知識を普及する勉強会を開催。  
（森林林業の基礎知識など）

### ケーススタディ地区

国や県の森林総合監理士が、市町村の担当者等と連携し、市町村森林整備計画の策定等を支援。

|     |          |      |      |
|-----|----------|------|------|
| 福岡県 | 糸島市      | 宮崎県  | 延岡市  |
| 佐賀県 | 伊万里市・有田町 |      | 木城町  |
| 長崎県 | 五島市      | 鹿児島県 | 綾町   |
| 熊本県 | 菊池市      |      | えびの市 |
|     | 五木村      | 日南市  |      |
| 大分県 | 日田市      | 沖縄県  | さつま町 |
|     | 豊後大野市    |      | 日置市  |
|     |          |      | 鹿屋市  |
|     |          |      | 屋久島町 |
|     |          |      | 国頭村  |

### 九州沖縄の5大学との連携



九州大学、熊本県立大学、宮崎大学、鹿児島大学、琉球大学と連携し、技術開発、人材育成を推進。

九州8県の森林総合監理士：279人、うち森林管理局職員32人（平成31年1月）

## ⑤優れた自然環境を有する森林の保全

- ・ 特に優れた自然環境を有する地域については保護林に設定し、森林生態系の保全、希少な野生生物の保護を図ることとし、モニタリング調査等を通じた順応的管理に取り組む。
- ・ 世界自然遺産への登録を目指している「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」については、地元関係者と連携して、森林生態系保護地域等の適切な保護・管理を実施。

### ○ 保護林の設定状況

(平成30年9月)

森林生態系保護地域: 7箇所 53,887ha

生物群集保護林: 10箇所 16,754ha

希少個体群保護林: 75箇所 4,009ha



屋久島森林生態系保護地域  
(屋久島署)



猪八重照葉樹林生物群集保護林  
(宮崎南部署)



紫尾山ブナ等遺伝資源希少個体群保護林  
(北薩署)



市房ゴイシツバメシジミ希少個体群保護林  
(熊本南部署)

### 奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島(世界自然遺産推薦地)

「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」については、世界自然遺産推薦区域の陸域のうち約7割が国有林であり、沖縄島北部ではやんばる森林生態系保護地域を設定、保全管理計画を策定するなど、適切な保護・管理を推進。



ヒカゲヘゴ(奄美大島)



やんばる森林生態系保護地域  
(沖縄島北部)



仲間川マングローブ林  
(西表島)

#### 【世界遺産登録に向けたスケジュール】

- 2019年2月1日 ユネスコ世界遺産センターへ推薦書を再提出
- 2019年夏～秋頃 世界遺産委員会の諮問機関(IUCN)による現地調査・評価
- 2020年5月頃 IUCNが世界遺産委員会に評価結果を勧告
- 2020年夏頃 世界遺産委員会における審議(登録の可否決定)

## ⑥森林景観を活かした観光資源の創出

- 優れた自然景観を有し、森林浴や自然観察等に適した国有林をレクリエーションの森として設定し、国民に保健休養の場として提供。
- 特に魅力的な自然景観を有する等、観光資源としての活用の促進が期待される箇所については「日本美しい森 お薦め国有林」として、インバウンド需要の取り込みも目指して、環境整備や情報発信等を実施。

### ○レクリエーションの森の設置状況

九州森林管理局管内 32箇所



(平成31年4月)

#### 『日本美しい森 お薦め国有林』(モデルレク森) 12箇所

- ・北九州自然休養林(北九州市)
- ・若杉山風致探勝林(篠栗町、須恵町)
- ・虹の松原風致探勝林(唐津市)
- ・田代原風致探勝林(雲仙市)
- ・有明山風景林(対馬市)
- ・くまもと自然休養林(熊本市、玉名市、玉東町、菊池市、阿蘇市)
- ・木原山風景林(熊本市、宇土市)
- ・向坂山野外スポーツ地域(五ヶ瀬町)
- ・宮崎自然休養林(宮崎市)
- ・猪八重の滝風景林(日南市)
- ・屋久島自然休養林(屋久島町)
- ・西表自然休養林(竹富町)



### 多言語看板の設置



宮崎自然休養林

#### 自然の中で楽しむための「5つのやくそく」 "Five promises" for enjoying yourself in nature

1. 倒木や落枝、落石に十分注意しましょう。  
特に、風の強い日など悪天候時は入林を取り止めるなど、細心の注意を払いましょう。  
Watch out for fallen trees, branches or fallen rocks. Be extra careful not to enter the forest during bad weather conditions, in particular, on windy days.
2. 足元に注意して通行しましょう。  
特に、急傾斜地では転落や滑落などに注意しましょう。  
Watch your step when walking. In particular, be careful not to fall over or slide down steep slopes.
3. 自然の中での活動は、楽しい反面様々な危険が潜んでいます。各自の体力や状況に応じて、自らの責任において行動しましょう。  
Activities in nature are enjoyable but at the same time there are many hidden dangers. Please keep in mind that your enjoyment of nature is at your own responsibility depending on the situation, taking your physical strength into account.
4. 車は所定の場所に駐車しましょう。  
Please park your car in the designated place.
5. 自然を大切に、ゴミは各自持ち帰りましょう。  
Please take your garbage home with you to preserve nature.

### ホームページのリニューアル



九州森林管理局ホームページ(イメージ)

## ⑦山地災害からの復旧・復興に向けた取組

- 近年、地震・集中豪雨等により山地災害が多発しており、復旧・復興に向け全力で取り組んでいるところ。併せて、荒廃山地の整備や保安林の水土保全機能の強化等により、地域の安全・安心を確保するための事前防災・減災対策を推進。
- また、熊本県・福岡県からの要請により実施している民有林直轄治山事業に積極的に取り組む。

### 山地防災力の強化



治山ダム(島原市)

### 海岸防災林の整備



護岸工(串間市)

### 山地災害対策緊急展開チームの派遣

大規模山地災害発生時には、迅速な復旧に向けて技術職員を被災地に派遣。



### 林道施設の復旧



(朝倉市)

### 熊本地震からの復旧・復興

平成30年度までに全ての事業に着手。平成31年度中の完了を予定。



山腹工(南阿蘇村)



【特定民有林直轄治山施設災害復旧等事業】  
(阿蘇市・南阿蘇村) (平成31年3月)

| 区分  | 予定   | 着手済  | 完了済  |
|-----|------|------|------|
| 区域  | 17区域 | 17区域 | 14区域 |
| 溪間工 | 34基  | 34基  | 32基  |
| 山腹工 | 3箇所  | 3箇所  | 2箇所  |

### 九州北部豪雨からの復旧・復興



被害状況(朝倉市)



山腹工(朝倉市杷木志波)

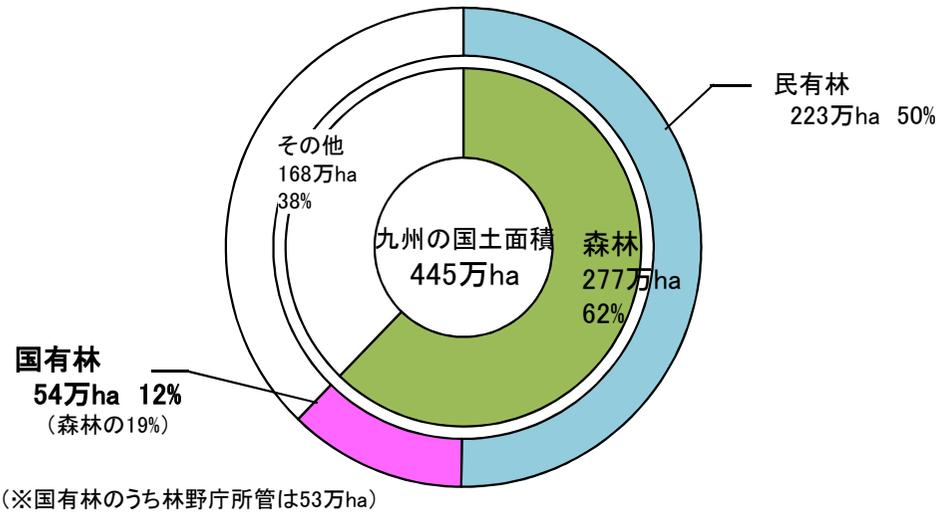
【直轄治山災害関連緊急事業】(朝倉市)  
(平成31年3月)

| 区分   | 予定   | 着手済  | 完了済  |
|------|------|------|------|
| 応急復旧 | 10箇所 | 10箇所 | 10箇所 |
| 溪間工  | 28基  | 28基  | —    |
| 山腹工  | 4箇所  | 4箇所  | —    |

【朝倉地区民有林直轄治山事業】(朝倉市)  
(平成31年3月)

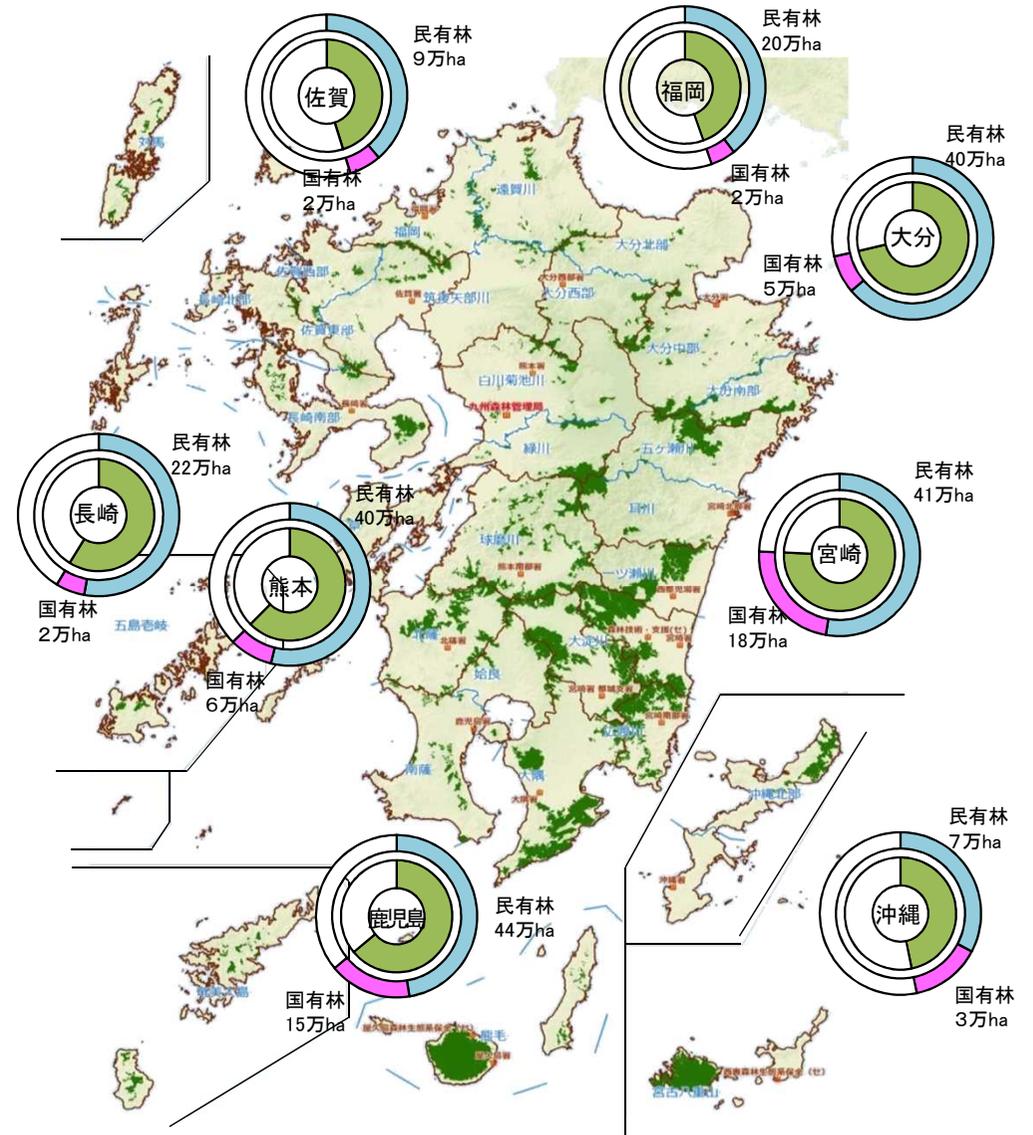
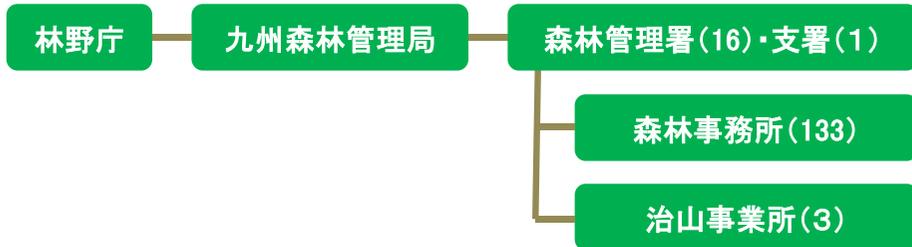
| 区分  | 予定   | 着手済 | 完了済 |
|-----|------|-----|-----|
| 溪間工 | 153基 | —   | —   |
| 山腹工 | 33箇所 | 5箇所 | —   |

## 九州の森林



## 九州森林管理局の組織

九州森林管理局では、17の森林管理署等を設置し、国有林の管理経営を行っています。



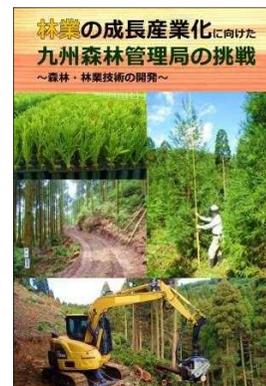
※森林資源の現況(平成29年3月31日現在。国有林には林野庁所管以外を含む)

# 平成31年度 主要事業量

| 項目    | 事業量等(カッコ内は前年度計画)                                |
|-------|---|
| 収穫量   | 2,971 千m <sup>3</sup> ( 2,969 千m <sup>3</sup> ) |
| 主伐    | 1,113 千m <sup>3</sup> ( 1,097 千m <sup>3</sup> ) |
| 間伐    | 1,858 千m <sup>3</sup> ( 1,872 千m <sup>3</sup> ) |
| 木材の販売 |   |
| 立木    | 471 千m <sup>3</sup> ( 467 千m <sup>3</sup> )     |
| 丸太    | 383 千m <sup>3</sup> ( 348 千m <sup>3</sup> )     |
| 森林の造成 | 142 百ha ( 137 百ha )                             |
| 植付    | 15 百ha ( 12 百ha )                               |
| 保育    | 127 百ha ( 125 百ha )                             |

| 項目       | 事業量等(カッコ内は前年度計画)  |
|----------|-------------------|
| 林業専用道等新設 | 28 km ( 31 km )   |
| 森林作業道開設  | 909 km ( 833 km ) |
| 治山       | 49 億円 ( 32 億円 )   |
| 国有林野内直轄  | 27 億円 ( 17 億円 )   |
| 民有林直轄    | 23 億円 ( 15 億円 )   |

～各種パンフレットで九州森林管理局の取組を紹介～



九州森林管理局  
ホームページ  
(パンフレット)

